

川崎商工会議所 地域経済動向調査レポート

○商工会議所 LOBO 調査（早期景気観測調査）と中小企業基盤整備機構 中小企業景況調査より、川崎市内の事業者データだけを抽出し、川崎市内地域経済動向として掲載しています。

○また、川崎信用金庫の中小企業動向調査より、景況感の概況について抜粋し掲載しています。

◆商工会議所 LOBO 調査とは

商工会議所のネットワークのもと、地域や中小企業が「肌で感じる足元の景気感」を毎月調査することにより、企業を取り巻く経営環境や直面する課題等の現状を示すデータとして、経済対策に関する政策提言・要望活動などに活用することを目的としています。

※本調査レポートでは、川崎市内の事業者データのみ抽出しています。

◆中小企業景況調査とは

中小企業を対象に、業況判断・売上高・経常利益等の DI 値※を、四半期毎に産業別・地域別等に算出する景気動向調査です。経営者へのヒアリングをベースに算出しています。約 80%を小規模企業が占める日本の中小企業構造の実態を踏まえた唯一の調査です。

※本調査レポートでは、川崎市内の事業者データのみ抽出しています。

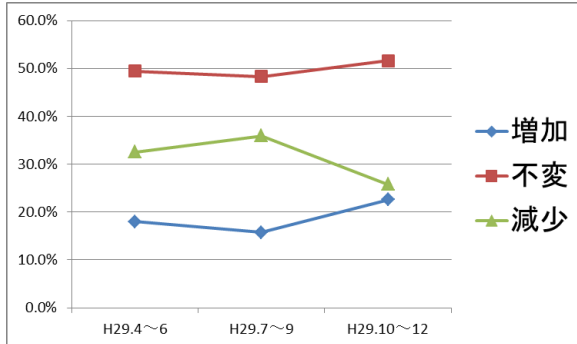
※DI・・・ディフュージョン・インデックス。前年同期比または前期比で、「好転」と回答した企業比率から「悪化」と回答した企業比率を引いた数値。

平成 30 年 1 月

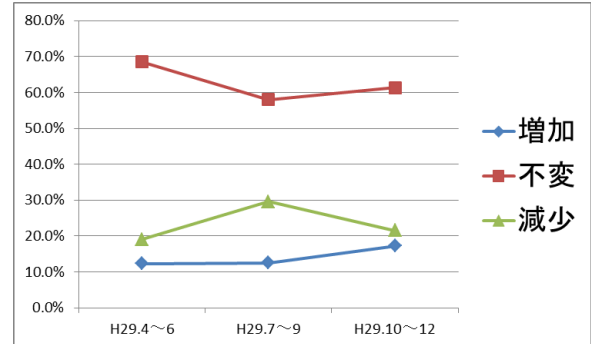
▽川崎市地域経済動向

・集計期間：平成29年4月～6月期（Ⅰ期）・7～9月期（Ⅱ期）・10～12月期（Ⅲ期）【全業種】

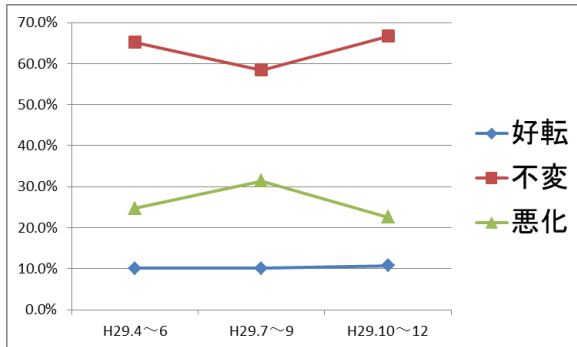
●売上高（前年同期比）



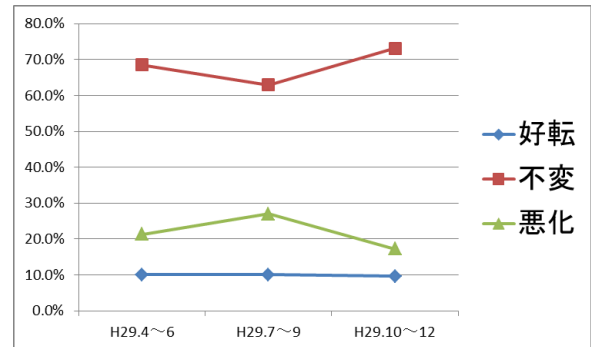
●売上高（向こう3ヶ月の先行き見通し）



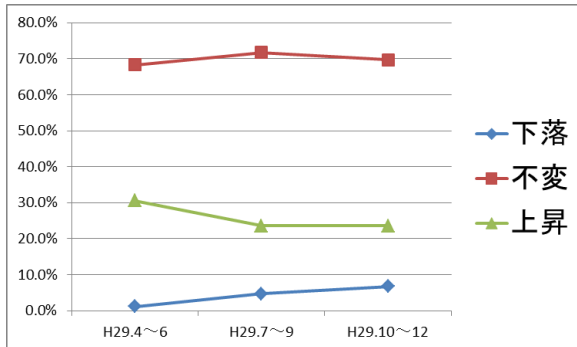
●採算（前年同期比）



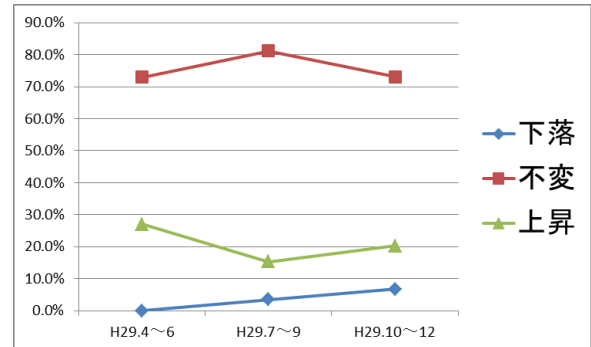
●採算（向こう3ヶ月の先行き見通し）



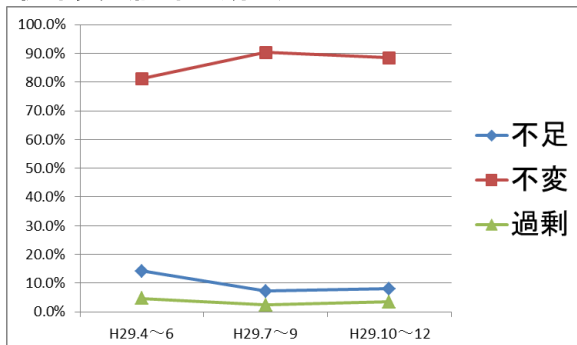
●仕入単価（前年同期比）



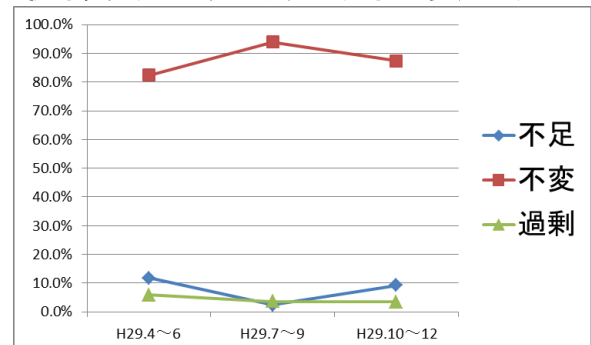
●仕入単価（向こう3ヶ月の先行き見通し）



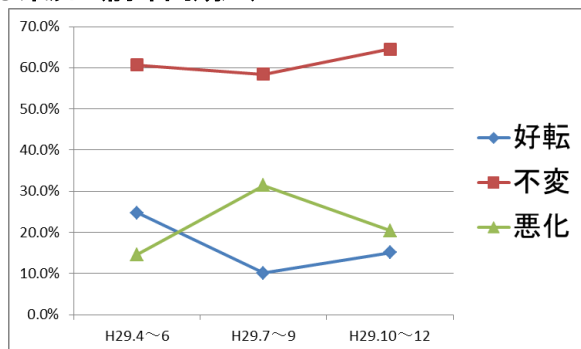
●従業員（前年同期比）



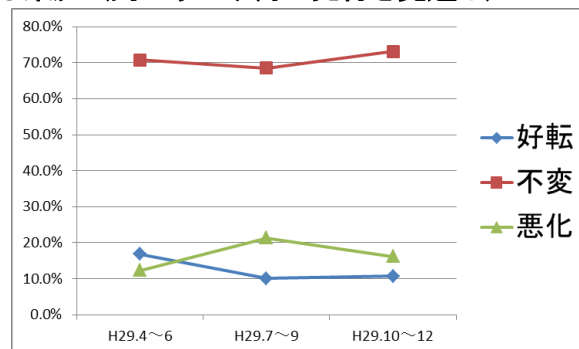
●従業員（向こう3ヶ月の先行き見通し）



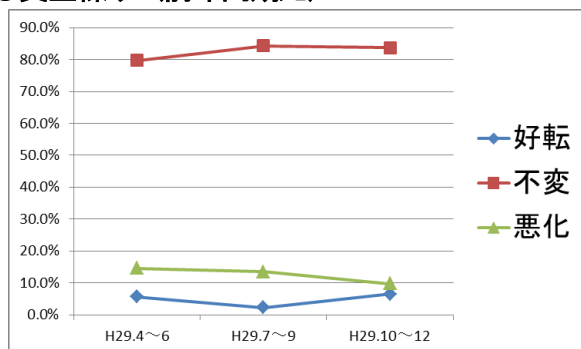
●業況（前年同期比）



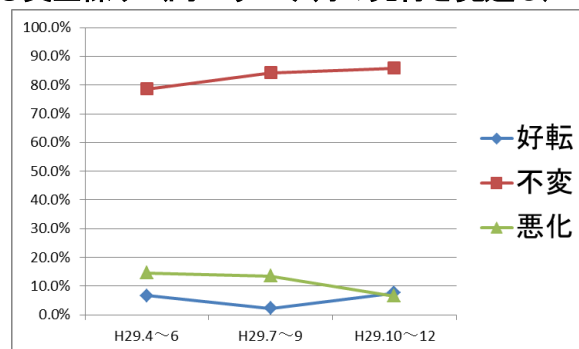
●業況（向こう3ヶ月の先行き見通し）



●資金繰り（前年同期比）



●資金繰り（向こう3ヶ月の先行き見通し）



▽まとめ

今期売上は微増で見通しも明るいものの、採算面では横ばいの見込み。仕入単価は下落傾向にあり、若干の人手不足が予想される。全体的に業況は緩やかに好転、資金繰りも好転している。

▽全国の場合との比較

【中小企業基盤整備機構第150回中小企業景況調査〈2017年10-12月期〉結果より】

「中小企業の業況は、一部業種に一服感が見られるものの、基調としては、緩やかに改善している」

- ・ 業況判断DIは2期ぶりに上昇（川崎市内も同様）
- ・ 資金繰りDIは、4期ぶりに低下（川崎市内は2期ぶりに上昇）
- ・ 原材料商品仕入DI「上昇」－「低下」は、2期ぶりに上昇（川崎市内は下落傾向）
- ・ 従業員数過不足DI「過剰」－「不足」は、6期連続不足感（川崎市内も2期連続不足感）

【商工会議所LOBO調査（早期景気観測調査）2017年12月調査結果より】

<https://cci-lobo.jcci.or.jp/wp-content/uploads/2017/12/LOB0201712.pdf>

「業況DIは、改善続く。先行きは慎重な見方が残るも横ばい圏内の動き」

- ・ 業況判断DIは2期連続上昇（川崎市内は2期ぶりに上昇）
- ・ 売上DIは2期連続改善（川崎市内は2期ぶりに改善）
- ・ 採算DIは2期連続改善（川崎市内は2期ぶりに改善）

【参考】◎川崎信用金庫中小企業動向調査による、平成29年4月～12月の景況感

▽【平成29年4～6月期】大幅な改善

概況

今期（平成29年4～6月期）の川崎市内中小企業の景況感を総合的に示す業況DI（業況判断指数）は、1.2と前期比9.3ポイント増の大幅な改善を示した。業況DIがプラスとなったのは、平成27年1～3月期の0.4以来9期ぶりとなった。川崎市の人口増加や世帯数増加と新年度開始で、不動産業の賃貸契約増加、サービス業・小売業の個人消費の増加が好影響となり、卸売業・運輸業の改善にも好影響をもたらしたと思われる。

売上額DIは前期比4.0ポイント増の△5.2、収益DIは前期比6.0ポイント増の△5.6を示した。

次期（平成29年7～9月期）業況DIの見通しは、△4.5と今期比5.7ポイント減の後退を予想している。

▽【平成29年7～9月期】横ばいで推移

概況

今期（平成29年7～9月期）の川崎市内中小企業の景況感を総合的に示す業況DI（業況判断指数）は、△0.7と前期比1.9ポイント減の横ばいを示した。

売上額DIは前期比3.9ポイント増の△1.3、収益DIは前期比3.0ポイント減の△8.6を示した。

次期（平成29年10～12月期）業況DIの見通しは、△2.5と今期比1.8ポイント減の横ばいを予想し、円安・株高が続く中で、市内中小企業の業況の回復基調に一服感がうかがえる。

▽【平成29年10～12月期】は横ばい

概況

今期（平成29年10～12月期）の川崎市内中小企業の景況感を総合的に示す業況DI（業況判断指数）は、0.5とプラスに転じたものの、前期比1.2ポイント増の横ばいを示した。

売上額DIは前期比2.0ポイント増の0.7、収益DIは前期比6.1ポイント増の△2.5を示した。

次期（平成30年1～3月期）業況DIの見通しは、△1.7と今期比2.2ポイント減の横ばいを予想している。

以上